

小田原足柄地区連合メーデーに参加しました！！

4月26日(土)に、メーデーに参加してきました。
とても暑い日でしたが、参加者はみんな元気に小田原城の二の丸広場のいつもの所に集合しました。
開会式では大きなトラックのステージで加藤小田原市長をはじめたくさんの代表の方が挨拶をし、働くことに向けての団結式が行なわれました。
そのあとはお楽しみの時間になり、配られたチケットで思い思いの屋台に並び、おいしいものをいただきました。焼きそば、たこ焼き、フランクフルトなどお祭りのようでした。
青空の下、参加者みんな楽しく過ごしたメーデーでした。
毎年ご招待いただき、小田原・足柄地域連合の皆様にご心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。



わんぱくマーケット



5月24日(土)は、例年参加しているわんぱくマーケットにありんこホームとしてお店を出しました。今年も主催者の「ゆとり塾」さんからお誘いをいただき、片山精肉店横の駐車場で自主製品の販売を行ないました。

10時に開店すると、このマーケットに集まってくる人や通りがかりの人などで大盛況でした。リメイク品のベスト、ビーズ製品、ジャム、梅干しなども売れましたが、この日は機織り製品のコースターが特によく売れていました。全体に予想以上の売り上げをあげることができました。また、寄付していただいた玉ねぎ、プロ

ッコリー、レタスの新鮮野菜は、お昼前に売り切れるほどの人気でした。

出店していたほかの施設の方たちとも交流が持てたことも収穫でしたし、いろいろな方がわざわざ出向いてくださり、楽しく会話を交わすこともできました。

日差しの強い一日でしたが、手伝ってくれた利用者の方も元気にお客さんに声をかけていました。

特定非営利活動法人 おだわら虹の会総会 報告

～平成26年5月16日(金) 生きがいふれあいセンターいそしぎ 第2講習室～

二見理事長が挨拶を行い、来賓を代表して、小田原市長代理山崎佐俊福祉健康部長からご挨拶いただきました。その他の来賓、小田原市民生委員児童委員協議会会長市川昭維子様、ありんこホーム運営委員長小杉純孝様、小田原市障がい福祉課副課長内田暁子様はお名前をご紹介させていただきました。公務で遅れた小田原市社会福祉協議会会長酒匂守様からもご挨拶をいただきました。議事に入り、第1号議案 平成25年度事業報告及び決算報告の件・第2号議案 平成26年事業計画(案)及び予算(案)の件を審議し、満場一致で了承いたしました。今年度はいよいよグループホーム建設に向けて具体的取り組みを進めていくことなど、利用者・ご家族のニーズにそって新たな事業展開を行うことを確認しました。



グループホーム開設に向けて

平成27年10月に開設を予定しているグループホームの進捗状況です。
5月13日(火) 秦野精華園が運営する(第2生活ホームモアガーデン、第12生活ホームももくり)グループホームを見学してきました。
施設の内装、特徴、運営に関することを学ぶことができました。
また、6月から神奈川県主催のグループホーム開設説明会が始まります。
見学や開設説明会で学んだことを生かし、入居者が安心、安全に暮らし、幸せを感じることでできるグループホーム開設を目指しております。



「男子宿泊訓練」 開始！！

この宿泊訓練は職員の指導の下、小人数による宿泊訓練を行うことにより新たにグループホーム、アパートでの自立生活を目指すために行うものであり、第1回目は4月25日（金）～4月26日（土）にかけて行いました。

当日の夕飯のメニューは「ほうれん草鍋」で各自鍋に入れる野菜を切り、ご飯を炊き、味噌汁を作り、予想外のおいしい夕飯となりました。翌朝は目玉焼き、ウインナーを焼き、味噌汁、野菜サラダを付け合せ、とてもバランスのいい朝食となりました。食事の後は、各自後片付けもきちりでき、とても有意義な宿泊体験となりました。

今後も「男子宿泊訓練」は月1回、月末の金曜日、土曜日にかけて行います。



機織り特訓中！！

4月から利用者さんによる機織りの自主製品づくりを始めました。

第2ありんこと第3ありんこでそれぞれ利用者さんがとても熱心に取り組んでいます。

機織りは専門的な知識や技術が必要ですが、ボランティアで中村さんが指導して下さいています。今では二人ともコツコツと自分のペースで、指導されたことをしっかり守りながら製品作りに励んでいます。「わんぱくマーケット」では製作者二人がお客様に製品の説明などをして、たくさん買っていただきました。今は、コースターが主な製品ですが、これからどのように進化するのか楽しみです。





昨年9月の「ありんこ祭」には加藤市長も訪問。右端が、市長の高橋さん。

ありんこホーム

市内3か所で運営する「ありんこホーム」は、現在、約80人が利用しています。障がいのある人が、それぞれの個性を大切に、自立した日常生活と社会生活を送るため、作業活動や機織り訓練、生活訓練などに取り組んでいます。

「いきいき・障がい者の働く場①」

作業活動で行う自主製品の製作では、リサイクルを心掛けています。廃油を石けんに、牛乳パックから和紙、和服地や古布からは洋服や小物などを作っています。企業からは、菓子箱の組み立て、土製品の加工、温泉施設用の浴衣の帯を畳む作業などの注文があります。

環境活動にも力を入れ、平成22年度から市の生ごみ堆肥化推進事業用の段ボールコンポストの基材づくりに取り組んでいます。今年度からは、小型家電に含まれるレアメタルの分別も手掛けます。

「地域の皆さんのご協力により施設の運営が成り立っています」と、所長の高橋雨英さんは話します。地域社会の一員として、障がい者の自立と社会参加を促進していきます。

ありんこホーム（近衛4・29・1）
 就労継続支援事業所
 第2ありんこホーム（近衛2・31・5）
 生活介護事業所、就労継続支援事業所
 第3ありんこホーム（輪島3・28）
 障がい者活動支援センター

「広報おだわら」五月号で
 ありんこホームが紹介されました！
 広報おだわらで新たに始まったコーナー「いきいき！障がい者の働く場」の、栄えある第一回目にありんこが選ばれ紹介されました。小田原市内にお住まいの方はご覧になった方も多いと思いますが、市外にお住まいの方にも是非読んでいただきたいと思えます。

賛助会員募集！

賛助会費（1年）

- 1）個人：1口2,000円（1口以上）
- 2）法人・団体：1口5,000円（1口以上）

お気持ちのある方は各事業所までご連絡ください。よろしく願いいたします。

※ 振込先 郵便局 通常貯金
 記号 10270 番号 15932091
 名前 トクヒ) オダワラニジノカイ



連絡先

- | | |
|----|--------------|
| 第1 | 0465-24-5486 |
| 第2 | 0465-35-8393 |
| 第3 | 0465-48-8269 |